

## ■報告

## 事業委員会「第12回 技術フォーラム」

技術士の方々の社会貢献活動、東日本大地震に関する話題提供、パネルディスカッション「技術士として…安全を考える」の報告は非常に興味深かった。東日本大震災やその直後の大津波、そして福島第1原発の事故、さらに、近年の豪雨に伴う土砂災害等により、パネルディスカッションで議論された「安全や想定内、想定外」という言葉をよく耳にするようになってきた。

想定外という言葉で片付けるのは簡単であるが、想定外を想定し、最悪時の対策を講じることが非常に重要である。畑村洋太郎さんが提唱されている「仮想演習」や「逆演算思考」を用いて、想定するための想像力を発揮するために有効だと考えています。

(YS22)

## ■私のプロジェクトX

## 佐田頼光さん

壮絶な技術屋人生を見せていただいたというのが最初の実感である。昭和31年の経済白書に「もはや戦後ではない。」との言葉がおどり、筆者が高校を卒業した昭和33年は岩戸景気の始まりの年であるが、庶民生活にその実感は程遠く就職難が世のなかを暗く覆っていた時代である。やっと決まった就職先は意にそぐわぬ自衛隊への入隊と千歳連隊への配属であったが、これが九州から北海道への移住に導き、北海道への多大な貢献のきっかけとなった。1年後に開発局に就職し開土研の土質研究室に配属になって永遠の敵である泥炭と巡り合うこととなる。

その後ドーコン、基礎地盤C、土質試験組合で数多くの現場を経験されたが、その時の苦労の跡が行

間からにじみ出ている。現在は拓北地下開発の技術顧問をされており、今想うのは技術屋の老後についてだという。その答えは、やはり永遠の敵、いや今は戦友である泥炭についての解明であり、筆者の記すごとく三つ子の魂百までもそのものである。素晴らしい技術史を読ませていただいた。

(いつものおせっかい男MS)

## 斉藤有司さん

世の中には俗にいう事務屋の世界と技術屋の世界がある。どちらにも共通する部分とそうでない部分があるが、一般的に前者にはゼネラリストが多く、後者にはスペシャリストが多い。また、種々の組織や企業の経営トップ或いは幹部層には事務系が圧倒的に多く、技術系はそれほど多くない。何故か？

残念ながら組織等の経営能力やマネジメント能力という点において、スペシャリストたる技術系人間は事務系に勝っているとは言えないからではないか。しかしながら例えば迫り来る危機管理をどう考えるか、発生した事故を最小限に止めるための現場対応などで、時には命をかけて身体ごと危機にぶつかっていく、これは技術者にしか出来ない技である。

技術系人間には二通りあり、技術屋あるいはスペシャリストとして人生を賭ける人もいれば、特定の技術分野に特化するだけでなく、経験を積んだ後に経営やマネジメント能力で組織を動かすようなゼネラリストを目指す人もいる。経営トップにはまだまだ技術屋の発揮すべき世界があるはずであり、事務屋と対等に戦えるパワーを持った人間がもっと増えて良いと思う。

本報告では筆者はある時点で事務系部門への転向があり、ゼネラリストとして事務・技術両方のバランスを取りながら色々な山や谷を経験し、経営陣の

一人として成功されたその努力に敬意を払うと共に、これからも後進の指導や技術屋の良きコーディネータとして活躍されることを期待したい。

(K.T)

技術部門、事務部門の両方の立場を経験され、そして私のプロジェクトXはこれからと、いわれる齊藤技術士に敬意を表します。札幌自動車道の測量線を張碓トンネルの尾根から眺めたときの感動を書かれています、読者にも伝わってきます。

事務部門に配置替えになったときには、意気消沈の船出だったとしながら、今思えば意外と回りの方々のほうが、自分を正しく評価していたと思うなどは、お人柄がにじみ出ているように思いました。日本技術士会には北海道支部長までされて貢献し、それでも私自身のプロジェクトXへの挑戦はこれからとされる意気込みを応援いたします。ただし、体調を崩されたとあります。無理をせずにご活躍ください。

(Y.K 血液 AB 型)

## ■会員のひろば

### 私のお薦めコーナー

お薦めとして石狩市全体の紹介です。エッ？ このコーナーは、お店の紹介でなかったっけ？と、ちょっと引きました。でも前号(CH132号)は、確かよさこいソーランだったし、このコーナーは何でもありだと思えば納得です。問題ありません。郷土料理の美味しい店や朝市の紹介、農産物から最後には石狩の見所まで満載です。たぶん、著者は石狩市出身かなと勝手に想像しました。

鮭料理の料亭に金大亭が紹介されていますが、ここには昔いったことがあります。鮭づくしといったコース料理だったと思いますが、店の造りにも歴史を感じるような落ち着いた店でした。魚料理が好きの方は一度行って見ては如何でしょうか、私が薦めてどうする!? 石狩市のさらなるご発展を祈念しています。

(Y.K 血液 AB 型)

## ■活動レポート

### 北方海域技術研究委員会

#### 平成26年度会総会・特別講演の報告

2014年4月25日に開催された北方海域技術研究委員会の特別講演について書きます。

講演は、その1で「北海道の漁業資源についての最新の情報化技術の紹介」で、資源マネジメント：IT技術(GPS、GIS)の駆使→データ制度の向上。一方、課題として最近色々な所で話題となっている「情報セキュリティ」を挙げておられ、最新の状況について知ることが出来ました。

その2は「港湾・海岸構造物の維持管理(長寿命化計画)」の策定に向けての考え方で、ここでもライフサイクルマネジメントを挙げておられ、点検・診断の効率化と合理化による劣化判定と劣化予測の重要性、そして要求性能レベルの策定に当たっては、経済性側面のみでなく環境側面・社会側面も評価するサステナビリティ(社会貢献)の考え方が重要性を増すことなど、今後、土木技術者として全ての構造物に当てはまる考え方であると感じました。

(J.I)

### リージョナルステート研究委員会

#### テーマ「ディスパーザー」について

#### 産官学意見交換会の報告

生ゴミを砕いて下水道に流している市町村が存在している事を初めて知りました。ビックリ!! しかし水洗トイレが普及している事を考えればナルホド……!!! しかし普及は今ひとつ進んでいないとの事。市町村民の課題は装置が高価で維持費が500円/月程度掛かる事、役所の課題は縦割り行政の改善意識な低い事等が分かりました。また高齢化過疎化対策の1つとして有効との事ですが、3割~4割の道民が住む札幌市が条例で禁止している事を知りました。推進に向けての意志の強い役人根性とトップのリーダーシップがあればな……とここでも感じました。当面はリージョナルステート研究委員会の普及活動に期待しましょう……(笑) (S.H)

## エゾシカ研究委員会

### 「エゾシカ肉の食味官能評価」を行いました

エゾシカ肉は私も過去に2回食べたことがあります。北見にいた中学生の時、父の会社の方がハンティングが趣味で持ってきてくれたのを普通に焼肉にして食べました。食欲旺盛な食べ盛りのガキの感想は脂味が少なくあっさりしていて少々物足りなく感じました。2度目は釧路の現場でボーリング屋さんがロットで叩き殺してルイベにしたものをもらいました。家族に食するものはおらず、仕方なく一人で酒の肴にして何回か食べましたが、すぐに飽きて大方捨ててしまいました。

それに比べて、KKRの総料理長による食味官能評価と題した試食会ですと、写真もうまそうですし、事実牛肉と同じ評価点だとか。一番点数が高かったのがモモ肉のカツで、見るからにうまそう。評価したのは会員13名と外部専門職員1名の14名だそうで、もう一人外部非専門職員を呼んでほしかったなあ。

(肉食男子MS)